



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究会報
Citation	独語独文学研究年報, 31, 343-346
Issue Date	2004-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26181
Type	departmental bulletin paper
File Information	31_P343-346.pdf



研究会報

講義題目（2004年度）

[学部]

独語学概論Ⅰ	言語実用論とは何か	植木 迪子
独語学概論Ⅱ	現代ドイツ語の構造とその背景 04	清水 誠
独文学史概説Ⅰ	文学史記述の諸問題	山田 貞三
独文学史概説Ⅱ	文学研究入門	石原 次郎
独語学	ドイツ語の多言語性（1）	植木 迪子
独語学	ドイツ語の多言語性（2）	植木 迪子
独語学	Hör- und Sprechstrategien	Christine Kühn
独語学	Lese- und Schreibstrategien	Christine Kühn
独文学	魔女の歴史と物語（3）	山田 貞三
独文学	魔女の歴史と物語（4）	山田 貞三
独文学		Birgit Lisker
独文学		Birgit Lisker
独語学基礎演習	AlltagskommunikationⅠ	Christine Kühn
独語学基礎演習	AlltagskommunikationⅡ	Christine Kühn
独文学基礎演習	ドイツ児童文学を読む（5）	山田 貞三
独文学基礎演習	ドイツ児童文学を読む（6）	山田 貞三
独語学基礎演習	北欧語入門（1）	清水 誠
独語学基礎演習	北欧語入門（2）	清水 誠
独語学演習	Deutschland heute – Land und Leute（1）	Christine Kühn
独語学演習	Deutschland heute – Land und Leute（2）	Christine Kühn
独文学演習	文学言語とイメージ（1）	石原 次郎
独文学演習	文学言語とイメージ（2）	石原 次郎

[大学院]

ドイツ文学特別演習	文学の社会学（1）	石原 次郎
ドイツ文学特別演習	文学の社会学（2）	石原 次郎
ドイツ語学特別演習	Sprechen –Psychologie der Sprachproduktion（5）	植木 迪子
ドイツ語学特別演習	Sprechen –Psychologie der Sprachproduktion（6）	植木 迪子
ドイツ語学特別演習	北ゲルマン語演習	清水 誠
ドイツ語学特別演習	ドイツ語学とゲルマン語学	清水 誠
ドイツ語学特別演習	歴史言語学の方法（英語文献）	清水 誠
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft（1）	山田 貞三
ドイツ文学特別演習	Germanistik und Kulturwissenschaft（2）	山田 貞三
ドイツ語学特殊講義	Wissenschaftliche PräsentationsformenⅠ	Christine Kühn
ドイツ文学特殊講義	Wissenschaftliche PräsentationsformenⅡ	Christine Kühn

研究会行事記録

◎2004年2月20日に北海道大学文学部204号室において2002年度修士論文・卒業論文発表会が開かれた。

◎2004年6月14日の総会にて、幹事選出・新会員の紹介等が行われた。

〈留学関係〉

◎2004年4月に真貝恒平氏がミュンヘンより帰国。

2004年度 独語独文関係の論文題目

卒業論文

- 坂井 濟 : 1970年代のドイツにおける文学教育の潮流
- 住井 貴史 : 対話における言語使用 — 雑誌にみる現代ドイツの若者ことば
- 松島 智 : さそうことば — デザインとページネーションのアフォーダンス

修士論文

- 杉浦 康則 : 20世紀初頭のヨーロッパの劇場
- 戸松 豊 : 戦後ドイツにおけるラジオメディアの機能
— Radio München (1945-1949) を中心に —

博士論文

- 清水 誠 : 「西フリジア語文法 — 現代北海ゲルマン語の体系的構造記述とゲルマン語類型論構築のための基礎的研究 —」 (論文博士)

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
 - 1) 機関誌「独語独文学研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会会員は北海道大学大学院文学研究科・独語独文学関係の教官・院生ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。

本会会員は上の活動の遂行のため所定の会費を払う。

本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。

本会の事務局は北海道大学大学院文学研究科におく。

本会に賛助会員をおく。

☆ 論文執筆要項

1. 論文審査
 - 1) 本誌は論文の掲載に関して審査を行う。
 - 2) 論文の採否は審査委員が決定する。その際、原稿への加筆、修正などを求めることがある。採否の結果は、編集委員会が投稿者に通知する。
 - 3) 審査委員は、編集委員会から委嘱を受けた本会所属の教員数名がその任にあたる。
2. 原稿執筆規定

執筆申し込み : 執筆希望者は、各年度の5月に行われる総会の前日までに、その旨を編集委員会に申請すること。

ページ数 : 20ページ程度。1ページの文字数・行数は任意。ただし35～37行程度が望ましい。

原稿の大きさ : A4。

論文題目 : 原稿1ページ目の最上段中央に、太字またはゴシックで多少大きめに記載する。二行にわたっても構わない。また、別紙にドイツ語または他の欧文による題目を記載する。

注釈・文献 : 注釈は脚注または奥付けとする。注釈番号はアラビア数字で右括弧付き。

執筆者氏名 : 原稿1ページ目の3行目(題目との間に1行あけること)、太字またはゴシックで右端に記載する。

身分の明記 : 原稿末に丸括弧つきで、右寄りで所属機関・職名を明記する。

締め切り : 10月31日。

会 員 名 簿

※青柳 謙 二	阿 部 和 夫	石 川 克 知	石 原 次 郎
伊 藤 祐紀子	岩 井 洋	岩 田 聡	◎植 木 迪 子
梅 津 真	江 口 豊	岡 崎 朝 美	岡 田 麻 子
荻 原 達 夫	香 川 千 穂	川 崎 良 江	※川 島 淳 夫
川 嶋 幸 子	岸 川 良 蔵	○岸 本 明 子	○熊 坂 亮
佐 藤 修 子	佐 藤 俊 一	塩 谷 幸 子	清 水 誠
シャイフェレ馨子	神 久 聡	○真 貝 恒 平	杉 浦 康 則
鈴 木 将 史	瀬 尾 慎 一	高 橋 修	田 中 剛
対 馬 晃	寺 田 龍 男	○戸 松 豊	中 川 勝 昭
○中 村 寿	中 祢 勝 美	名 執 純 子	名 執 基 樹
西 川 智 之	野 村 洋二郎	藤 本 純 子	前 原 真 吾
松 橋 知 子	三 浦 國 泰	最 上 英 明	森 田 一 平
山 口 修 司	山 田 恵 子	山 田 貞 三	山 田 善 久

◎は会長、○は幹事、※は名誉賛助会員。なお、次の方々には今回に限り特別寄稿していただきました。当研究年報はレフェリー制を採用しておりますが、特別寄稿論文および植木先生の論文にはレフェリーを設けておりません。

植 田 康 成	クリスティーネ・キューン	四 反 田 想	田 中 慎
ハイコ・ナロック	増 本 浩 子	室 井 禎 之	吉 田 徹 也
脇 阪 豊			